

麻布米軍ヘリ 基地撤去要求集会

「その不屈の精神と
たゆまぬ研鑽」

毎年4月に取り組まれている港区の麻布米軍ヘリ基地の撤去を求める集会は、今年で49回目になり、4月18日夕刻に、基地に隣接する港区の青

山公園で約150人が集まって、意気高く、行われました。

集会の実行委員会から、同基地への米軍ヘリの発着航路の実態調査を写真などに基づいて、防衛省・外務省や東京都に高度やコースの是正の交渉をした報告がありました

横田基地問題 を考える会

ニュース No. 28

連絡先

電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス

Yokota-peace.sunnyday.jp



いう問題もあるのですが、実行委員会の人たちは、さらに実態調査を積み重ね、また、相手の逃げ口を塞ぐための別の切り口を探るなどして、交渉を前進させたいと語っておられました。

その不屈の精神とたゆまぬ研鑽の姿勢には、私たちも大いに学ばなければと思いました。

が、私たち横田の防衛省・外務省交渉と同じで、当局側は「違反の飛行があった事実は確認できない」「米軍の行動に介入する権限がない」など無責任な態度で終始しています。

麻布ヘリ基地の場合は、ヘリ基地に都が提供した土地の返還に関して米軍・国・都の三者協定があるのにサボられ続けと

沖縄からは辺野古の住民監視船「平和丸」の女性船長さん、横田からは西多摩撤去の会の窪田さん、基地反対の若手弁護士会の、都議団、区議団などスピーチもあり、東京都に米軍基地を許さない運動の連帯を強めるための大変意義ある集会でした。

(昭島市・盛岡)

定期総会のご案内

横田基地の変貌は目を見張るほどです。

最新鋭の戦闘機が20機も飛来したり、特殊部隊を輸送するオスプレイの配備が予定されたり、日米の共同指揮所演習が日常的に行われたり、年間500人もものパラシュート降下訓練が行われたりしています。こうした中で近隣住民の不安が一層高まっています。

総会には多くの皆さんが参加し、これまでの取り組みと、これからについて豊かな議論を行い、活動方針を打ち出したと考えると、思いがたかです。

5月8日(日)
13時30分~
立川柴中会公会

自治体でのオスプレイの話題は・・・？



武蔵村山市議
内野なおき

武蔵村山市では「CV22は、人道支援・災害救援活動の役割も担っていることから、受け止めざるを得ない」これは、3月市議会・一般質問での市長答弁です。市はこれまで「防衛問題は国の専管事項」を繰り返してきましたが、今回はじめて受け入れを容認しました。

また、人道支援・災害救援活動の役割を担うというのは事実誤認です。防衛省の資料によると「CV22は米軍特殊部隊の輸送が主な任務」、「大規模災害が発生した場合、…人道支援・災害救援活動を行う事ができる」とありますが、「担う」とは説明していません。他にも、一ハー瑞

穂工場の整備拠点化などでエンジン部品を米国から空輸される可能性も踏まえて、騒音測定の強化などを要望しました。

この間の基地機能の強化は安倍政権による戦争法の具体化です。このままでは横田基地がテロの標的になる危険性も現実味を帯びてきています。被害に巻き込まれるのは一般市民です。沖縄の戦いに学び、思想信条の違いを超えて一人ひとりが声をあげることがますます重要で



昭島市議
熊崎真智子

昭島市では3月議会、日本共産党の佐藤あや子議員は、横田基地に戦闘機の飛来、一ハー瑞穂工場にて戦闘機のエンジン組み立て工場の新設、横田基地へのゲートの設置、オスプレイ

配備計画など、軍事拠点として変貌している実態を市長に突きつけ、市長が今議会で「オスプレイ配備がなされるものと受け止めざるを得ない」と配備を容認する姿勢を明らかにした事を糾弾しました。

私は米軍機の飛行直下に住む昭島市民の、騒音・事故・事件等市民生活に高まるリスクや、日米合意を遵守できるのか、と市長を詰めました。

市長は「昭島市民は長年、事故の危険性にさらされ、航空機騒音は甚大、日常生活の中で騒音への悩み、航空機事故への不安は尽きない」と認識を示しながら、一方で「防衛は国の専管事項であり、地方自治体の長が判断すべきものでないことは自明のこと」と答えています。

私は「国の専管事項という市長の発言は問題からの回避である、逃げないで市民の福祉暮らしを守る

立場に立つべき」と追及しました。昭島市長がオスプレイ配備を容認した事は許せるものではなく、今後私達は厳しく追及していきます。



立川市議
大沢豊

「横田基地対策に関する要望書」というものを「横田基地に関する東京都周辺市町連絡協議会」が米軍と日本政府に2014年と2015年に出しています。

この要望書をもとに先の立川市3月議会でも質問をしました。「要望書にはオスプレイについての迅速で正確な情報提供を行うとしているが、情報提供が遅いことや、昨年のハワイでの事故の新たな映像がインターネット上で提供されており、これを見る

と着地と同時に両翼が折れその後爆発している、欠陥航空機の証ではないか」とたずねました。これについては「事故の詳細についてはまだ分からない部分が多い、説明を再三申し入れている」と答弁しています。

また、この要望書には「日米地位協定とその運用について適切な見直しを行うこと」ということも9項目に渡り詳細に記されています。大変重要な内容だと思しますので、行政ばかりに任せていないで私たち地域住民もしっかりと運動に取り入れていくことが必要ではないかと思っています。



安保協力

「目に見える形で」

日米韓首脳会談 首相が表明

安保関連法は3月29日に施行された。4月1日の東京新聞によると、その2日後の31日の日米韓首脳会談で、安部首相は「安全保障分野における日米韓3ヶ国の協力を、目に見える形で具体的に進めていくことが重要だ」と表明し、日本が軍事面で積極的な役割を果たす姿勢を鮮明にする。

首相の念頭には、安保法に基づき、集団的自衛権行使を想定した共同訓練や情報共有の大幅強化と一元化、軍事計画の協議などがあるとみられる。

日米首脳会談

- TPPを日米で主導
- 米軍普天間飛行場は辺野古移設が唯一の解決

日米韓首脳会談

- 安保分野での協力を目に見える形で具体的に進めることが重要
- 北朝鮮の核・ミサイル問題で緊密に連携。拉致問題への理解と支持を要請
- テロを断固非難。暴力的過激主義対策で、非軍事面での支援実施

首相の発言内容骨子

戦闘現場近くに展開する米軍などへの戦闘の支援、米艦防護など大幅な活動拡大で自衛隊員のリスクは増える。こうした問題に政権は国民に何も説明していない。

平和ブランド講演会

アベノミクスと 戦争する国づくり

今年の「平和ブランド講演会」は、経済研究者・友寄英隆氏に講演をお願いしました。この講演会は、立川9条の会・立川平和委員会・横田基地問題を考える会・立川

革新懇・錦法律を知る会・平和をめざす戦争実行委員会が主催しました。

① GDP (国内総生産)
友寄氏は講演の中で、

は停滞し、勤労者所得は年々下がり、貧困・格差は広がり、「経済の二極化」が拡大している。

② 円安・株高の追求は「株式資本主義化」で、海外の金融変動に弱い体質をもたらししている。

③ 安倍内閣のもと、「原発推進」と「経済の軍事化」が急激に進みはじめている。



世界的にも貧困と格差が広がり政治的対決を引き起こしていることも指摘されました。

安倍政治のもと、「戦争法廃止・国民生活守れ」の広範な国民運動が起きていることに確信を持ち、参議院選挙で野党連合で安倍内閣打倒に向かって頑張ろうと締めくくりました。

CV22オスプレイは米軍特殊部隊430名と一緒に配備

CV22は2017年度に3機、その後、合計10機配備と発表されている。

特殊部隊は、他国の奥深くに潜入し、要人の拉致や暗殺などを任務とする危険な部隊で、日本の防衛とは全く関係ありません。



パラシュートでの人員降下や物資投下訓練 横田でも東富士でも

3月2日、横田基地で500名、0000mからの人員降下訓練が行われた。同時に砂袋の投下訓練も。

2月2日、東富士演習場で、パレットやパラシュートを回収する写真がHPに掲載されている。

米本土からオスプレイが横田基地に飛来

3月7日、カリフォルニア州ミッドマー基地所属で強襲揚陸艦ホクサイの艦載機オスプレイが横田基地に飛来した。米本土では危険な住宅密集地での飛行・訓練は許されていない。

横田基地の動き

米韓が過去最大規模の合同演習を実施

米韓合同訓練は、毎年春に行われてきた。今年は、3月7日〜4月30日、米軍約1万7千名、韓国軍約30万名で共同軍事演習を行っている。

これに対して北朝鮮の国防委員会は、北朝鮮の最高首脳を狙う「斬首作戦」も含まれていると指摘し、核攻撃手段が常に発射待機状態にあると主張している。

最新鋭戦闘機20機が横田基地に飛来

1月20日〜25日、米アラスカ州エルメンドルフ基地所属の最新鋭戦闘機F22が14機、米アラスカ州所属のF16が6機飛来した。これほど多くの戦闘機の飛来は異例で、多くの市民がその騒音に驚く。

これは日本政府に事前通告がなかった。それでも中谷防衛庁長官は「米軍の抑止力と…」歓迎している。

米軍CVオスプレイの施設建設費を計上

米国防総省は2017年度予算案に横田基地の施設建設費を計上した。

- ① 駐機場 ② 格納庫 ③ 運用・貯蔵施設 ④ シュミレーター の4項目

2017年度から2019年10月までの工期。



F-22A

横田基地のヘリ 調布飛行場に緊急着陸

2月29日、横田基地所属のUH1Nヘリが、エンジン警告灯が点灯したため、調布飛行場に緊急着陸。3月4日に横田基地に帰還した。

パラシュートが基地外に降下

3月22日、東富士演習場で横田基地所属のC130によるパラシュート降下訓練中に、一人が基地外の工場駐車場に降下した。近くは高速道路がある危険な場所。

日米共同訓練2014年度は1,265日

2011年度	715日
2012年度	854日
2013年度	915日
2014年度	1,265日

日米合同訓練は年々増加しているが、2014年度は多国間共同訓練への積極的参加が含まれて、一段の訓練増の原因となっている。